



たかつな

～1年 MAさん～〔1学期のふりかえり〕

高綱中学校に入学して4ヶ月が経ちました。中学生になることに楽しみと不安の両方がありました。新しいクラスや友だち関係、勉強などです。4月は他の小学校から来たクラスメイトと緊張して話すことができず、同じ小学校の人たちとばかり話していました。しかし、班での活動や委員会活動で少しずつ話せるようになりました。また、わかたかタイムでも1年生の他のクラスの人たちと話すきっかけになりました。最近では、1年生だけでなく先輩方とも関わることができて嬉しいです。



次に、勉強についてです。授業やテストがどうなるのか不安でしたが、授業の内容を自分がわかりやすいようにノートやプリントにまとめることを心がけました。期末テストに向けて、間違えた問題や苦手なところをくり返し勉強しました。テストが返されて、振り返ると5教科の学習のバランスにかたよりが出ていることがわかりました。苦手な教科をやりすぎてしまって、他の教科の勉強が足りてなかったからです。今回のテストで計画の大切さがわかりました。次回からは計画をしっかり立てて、余裕を持って学習できるようにしたいです。

ここまで新しい仲間との出会いや学習について話してきました。しかし、私が1学期本当に頑張ったことは部活動です。私は吹奏楽部に入っています。上手に吹けず、落ち込んだり悩んだりすることばかりです。それでも1年生の仲間や先輩方、顧問の先生と一緒に音楽に打ち込むことができて本当に楽しいです。今週月曜日には中信大会がありました。会場の雰囲気や他校の演奏に圧倒され、緊張の連続でした。本番の演奏では、頭が真っ白になり、自分がどんな演奏ができたのかあまり覚えていません。私自身は納得のいく演奏ができなかった部分もありました。だからこそ、県大会では自分の納得のいく演奏ができるように残りの練習を頑張りたいと思います。

1学期をふりかえるとできたことやできなかったことがあります。2学期も自分が成長できるようにがんばります。

～2年 T.Sさん～〔1学期頑張ったこと〕



私が1学期に頑張ったことは2つあります。1つ目は部活です。私は吹奏楽部に所属しています。1年生が入部し、今年は先輩という立場になりました。私は、中学校に入学する前は吹奏楽の経験がなかったので、誰かに楽器の指導をする経験がなく不安でした。しかし、去年先輩が教えてくれたことを真似して実践したら、後輩に伝えるように教えることができました。自分が部活にどのように向き合ったらいいかわからなくなった日もありましたが、自分で考えコンクールの課題曲・自由曲の練習に毎日取り組みました。

2つ目は習い事のことです。数年習っていますが、行きたくないなと思うことや周りに記録を抜かれることがありました。しかし、ストレッチや練習を毎日怠らずにやったら、できるようになることも増えて、自信が出てきて毎週通うことができました。周りの上手な人やコーチをみてコツを掴んだり、技術を盗んで苦手なこともできるようになりました。

2学期は、若鷹祭があります。自分の課題や必要なことを考えて、先輩や後輩との関わりを大切にしながら、部活に取り組みたいです。習い事では、周りに負けたり追い抜かれたりすることを恐れずに、自分からどんどん挑戦して技術を向上させたいです。

～3年 KAさん～〔1学期をふりかえって〕

僕が1学期に頑張ったことは2つあります。1つ目は日々の学習です。2年生の3学期のテスト結果を見て僕はとても不安になりました。そのため、3年生になり日々の学習時間を伸ばし、授業の受け方も見直しました。具体的には、家に帰ってその日のうちに復習し、授業での集中度を上げ、授業の中できちんと理解して覚えていこうとしています。

2つ目は修学旅行での係活動です。僕は、学習会計係を務めました。会計係は班員からお金を集めて、全体に関わる費用は代表して払ったり、残金を班員で均等に返金できるようにしたりしなければなりません。当日、うまくいかないことがあったけど、班員の人たちに助けられ、無事にきちんと仕事を終えることができました。この経験からお金を扱う責任の重さを知ることができました。これらのことから、この1学期はとても自分に自信がついた4ヶ月間だったと思います。

2学期は、本格的に受験に向けて取り組んでいかなくてははいけません。まだ明日から始まる夏休みも受験に向けて勝負の夏になります。まだまだ不安は残っているので、しっかりと学習に取り組み、夏休みなので思いっきり遊ぶためにも学習とのバランスや切り替えを大事に生活したいと思います。

また、夏休みが終わるとすぐ中学校生活最後の若鷹祭があります。自分にできることはしっかりして、終わったときに後悔なく、良かったなと思えるようにしたいです。3年間を過ごしてきたみんなと3年間の思いを大事に若鷹祭に向かいたいと思います。

これから本格的に受験に向けて進み始めなくてははいけません。その中で、きっと苦しいことも多いと思います。しかし、共に進路に向かう仲間と、自分の進路を切り開き、明るい未来を信じて頑張っていきたいと思います。



～1年 HAさん～〔2学期にがんばりたいこと〕

私が2学期にがんばりたいことは3つあります。1つ目はテストです。1学期期末テストでは、テスト勉強をがんばったけれど、惜しくも目標にたどり着くことができませんでした。ですが、初めてのテストでおよその傾向がわかりました。次の2学期のテストは、1学期末テストの反省を活かして、目標を超えられるようにがんばっていこうと思います。

2つ目は、あいさつです。あいさつはコミュニケーションをするうえで大切なことです。1学期では、あいさつをしていました。2学期からはなるべくはきはきと相手の目を見てあいさつをしていきます。

3つ目は、人との接し方です。私は、友だちとあまり話したことがない人との態度があまりにも違ってきます。これからは、友だちとも初めて会う人とも話したりすることを心がけ、楽しく接していきたいです。そのために、少しずつでもゆっくりと多くの人と話していきたいです。

この3つのことをふまえて、1学期の長所は伸ばしつつ、短所をしっかりと変えられるように、今日言ったことをしっかり頭に入れて2学期もがんばっていこうと思います。



～2年 YKさん～〔広島平和記念式典参加報告〕

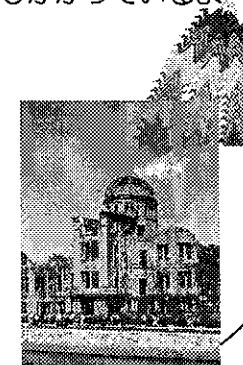
僕は、8月5日から7日の3日間、松本市の広島平和記念式典事業に参加して、様々な場所を見学してきました。1日目は、全国平和学習の集いに参加しました。全国から多くの人が集まっていましたが、班ごとの活動では、自分も平和な世界の実現に必要なきまりや仕組みについて積極的に意見を出して、進んで話し合うことができました。また、僕たちと同じくらいの年齢で被爆した梶本淑子さんから当時の状況について直接話を聞くことができました。聞いた話の中でも、「被害を受けた後、同じ建物の下敷きになっていた仲間と大けがを負っていたながらも励まし合ってがれきから抜け出した」という話を聞いて、その姿が大きな被害を受けてもめげずに手を取り合って復興に向けて歩み続けた人を象徴しているように感じ、とても貴重な体験になりました。

2日目は、平和記念式典に参加しました。会場には、この日のために集まった世界各国の代表

団の人たちが多くいたので、この式典から核兵器根絶へ向けた取り組みや世界平和への願いが世界中に広まってほしいと思いました。また、午後には江田島旧海軍兵学校を見学しましたが、特攻隊として出撃し亡くなった人たちの遺書を読んでいると、大半の人が「国のために奉仕できて幸せ」と、死を前にしながらも強い誇りをもっていました。けれども、その一方で残される家族や恋人のことも心配して気にかけていたことを感じ、特攻隊員の人たちが置かれていた境遇がひしひしと伝わってきて、胸が締め付けられるようでした。

3日目は平和記念資料館を見学しました。展示されている物の一つ一つが原爆のとてもない威力や被害の悲惨さを物語っていました。写真の三輪車は、当時3歳の女の子が被爆した時に自宅の前で乗って遊んでいたものです。その女の子は、被爆した日の夜に亡くなってしまい、三輪車だけが遺品として残されました。また、この資料館を見学して、初めてアメリカや朝鮮など、日本以外の国出身の人たちも原爆によって命を落としていたことを知りました。この様な展示を見ていると、どんなに心構えをしていても、核兵器が年齢や性別、国籍関係なく無差別に多くの人の命を奪ってしまうという現実が心に重くのしかかっているようで、見学を終えた頃には気分がどんよりしていました。

今回実際に広島へ学習に行き、原爆による被害は自分たちが思っている以上にすさまじく、その時実際に体験したことや記憶を生かして世界平和や核兵器根絶のために行動している人たちが多くいることを改めて感じることができました。今回の学習は世界平和へ向けての国や自治体、被爆者団体の取り組みに関心を向ける貴重な機会になりました。今回感じたことを日常生活や学習に生かして、よりよい生活を送れるようにしていきたいです。



～3年 Y.Yさん～〔2学期の抱負〕

今日から2学期が始まります。この2学期で、まず僕が意識したいことは、自分との向き合い方です。今まで僕は上手くいかないときや、苦手なことを目の前にしたときに、マイナスのイメージをもち、できない理由を考えて、「やらなくてもいい」「できなくてもいい」という気持ちでいました。そんなことを考えているので当然できるわけがありません。さらにその原因を環境や人の責任にして自分と向き合うことをしてきませんでした。どんな状況でも前に進み、ベストを尽くすためには、取り組む自分自身に矢印を向けて考えていかなくてははいけません。1学期の進路講話で「行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」という言葉が講師の先生からお聞きしました。

自分の運命を変えていくには、自分自身の行動を変えていかなくてははいけないということです。自分と向き合えてなかった僕は、常にこの言葉を意識して生活していきたいです。

最後になりましたが、2学期には3年生にとって最後の若鷹祭、若鷹杯があります。クラスや学年の仲間と一緒に頑張ったり楽しんだりできる機会も少なくなってくるので、常に全力で取り組んでいきたいです。また、学習は、自分の進路だけでなく仲間の進路も大切にできるように、クラス全体で学習に集中できる環境を作っていきたいです。自分だけではなく、全員がお互いの頑張りを認めて、成長できるようにしたいです。

